

生理学研究所
痛み研究会
(2020年度)

Webでの参加・発表要項と
プログラム・抄録

2021. 1. 22(金)

Web開催

生理学研究所 痛み研究会（2020年度）にあたり

新型コロナウイルス感染拡大による様々な制約のなか、皆様におかれましては業務や教育に加え、研究を引き続き遂行なされていることとお察しいたします。ご健勝と収束の兆しがみえることを心よりお祈り申し上げます。さて、この度、生理学研究所 痛み研究会を2021年1月22日（金）にWeb開催させていただき運びとなりました。

生体は、内外からの様々な情報をもとに適切な行動を発現します。その中で痛みや痒みなど侵害あるいは不快な刺激は生体防衛機能を発現するのみならず、持続する不快な感覚は情動とも密接な関連があり破局的思考に陥るなど精神機能にも大きな影響を及ぼします。侵害・不快な刺激は主に無髄で伝導速度の遅いC線維によって伝えられるなど、我々は原始的な末梢神経を利用しますが、その情報は脊髄や視床、脳幹、辺縁系など古い脳のみならず、新皮質を含めた多くの中枢を賦活化します。これまで、様々な部位における疼痛や体性感覚の発症機構の詳細が明らかにされていますが、これらの成果を有機的に結びつけ体系的に痛みを捉えることも極めて重要です。そこで、本会は痛みのみならず様々な分野でご活躍の研究者の方々にご講演を依頼しました。プログラムは、特別講演3題、招待講演9題と充実した内容となっています。

本会にご参加頂いた数多くの研究者の皆様、演者や座長の先生方、開催準備や運営にご支援頂いた富永研究室の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、この分野の研究を更に発展・推進すべく、皆様には当日是非とも、“研究会らしい”忌憚のない活発な議論をして頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

世話人：富永 真琴（生理学研究所／生命創成探究センター）

代表者：古江 秀昌（兵庫医科大学）

参加にあたっての守秘義務および注意事項

1. 研究会の発表内容には未発表データも含まれます。開示された研究成果、その関連情報に対する守秘義務を遵守し、許可なく開示、漏えい、使用しないでください。
2. 発表資料の録画、録音、画面のキャプチャ保存等は手段を問わず禁止します。
3. オンライン開催サイトの URL、ID、パスワードを他の人に教えないで下さい。
4. 同じ研究室等から複数の方が参加される場合であっても、一人 1 台の PC から参加してください。ただし、個人でカメラや PC が確保できない場合は 1 台で 2 名の参加を許可します。プロジェクター等で複数の方が視聴しないでください。
5. カメラが利用できない PC からの参加はお断りします。事務局が参加状況を把握するために、バーチャル背景はお切りください。
6. 参加にあたって個室等が確保できない場合はイヤホンの使用や画面が周囲から見えないようにしていただくなど、発表内容が漏れないよう配慮してください。
7. できるだけプログラムに沿った進行をします。質問が受け付けられない場合があります。休憩時間をご活用ください。
8. 接続トラブルへの対応などでプログラムの遅延や変更が生じる場合がございます。
9. 参加中に OS やセキュリティソフトのアップデートが行われるとトラブルの原因となりますので、予め一時停止しておくことをお勧めします。
10. PC の設定によってスリープ設定で強制退室になったり、逆にスリープでも発表音声の流れたりするケースが確認されています。研究会中はスリープ設定を OFF にすることを勧めます。

当日の流れ（全員用）

受付

1. 当日は 8 時 40 分 ～ 9 時 15 分の間に受付を済ませてください。
2. Zoom リンクにアクセスし、あらかじめお知らせしたMeetingID・参加用の名前・パスワードを入力して待機室に入ってください。
3. 許可されたら**マイクが OFF** の状態であることを確認してください。
4. 会の途中で退室しても、待機室にて事務局の許可を得ることで再参加できます。

セッション

1. 発表中はカメラとマイクを切ってください。
2. お手洗いなどで離席する場合は PC の画面と音声を切ってください。**PC のスリープ機能は使用しないことを推奨します。**
3. トラブルが発生しましたらチャットで「00_事務局メイン」に連絡してください。あるいは事務局（0564-59-5287 または 5286 または 5285）に電話してください。
4. 質問がある場合は参加者ウインドウ右下の「手を挙げる」ボタンを押してください。取り消すには同じ箇所の「手を降ろす」ボタンを押してください。質問は全て発表後に受け付けます。
5. 座長から指名が入ったらカメラとマイクを ON にして質問してください。
6. 質問が終わったらカメラとマイクを切ってください。

休憩

1. Zoom につないだままで構いません。**PC のスリープ機能は使用しないことを推奨します。**
2. 退室した場合は、セッション開始 10 分前までに待機室に入ってください。
3. チャット機能を利用した特定の参加者同士の会話はいつでも可能です。ただしマイクは使用しないでください。

閉会

1. 閉会後はいつでも退室可能です。

Zoom・ネットワークトラブル

1. Zoom 自体が使用できなくなった場合は、事務局からのメールをチェックしてください。事務局が状況を随時アップデートし、再開方法を指示します。

当日の流れ（座長用）

1. セッション開始の少し前からカメラと音声を ON にしてください。事務局からの連絡・相談が入るので、**チャットウィンドウは常に開いておいてください。**
2. 予定時間になったら演者を紹介してください。
3. 発表中はカメラとマイクを切ってください。
4. 発表が終わる頃にカメラ・マイク・**参加者ウィンドウ**を ON にし、 挙手アイコンのついた参加者を上から順に指名して質疑応答を進めてください。ただし、**学生（名称末尾に S）を優先して**指名してください。
5. 発表の持ち時間は「Timer」という名称の参加者のカメラで示します。カウントダウンがゼロになった時点で**質問者が残っていてもその発表を終了し、**次に移ってください。ベルは鳴りませんのでご注意ください。
6. 以降の演者についても 2～5 を繰り返します。
7. 演者にトラブルがあった場合は、状況に応じてそのまま続けるか、発表順を変えるか、研究会の最後に移動させるかを代表者と決めてください。

当日の流れ（発表者用）

1. 画面共有中は参加者側で解像度が悪くなる場合があるため、大きめのフォントや図をお使いください。
2. 第 1 セッションは 9 時 15 分に、それ以降は前のセッションが終了した直後に一人ずつカメラ・マイク・スライド共有のテストをしますのでご協力ください。
3. セッション中はあらかじめスライドを起動しておき、発表の順番になったらカメラとマイクを ON にし、画面共有でスライドを指定してください。
4. 発表中は「Timer」という参加者のカメラで残り時間を表示します。ベルは鳴りませんのでご注意ください。
5. 発表中にトラブルがあった場合は、代表者か座長が対応します。状況に応じて発表順を変更させていただくか、研究会の最後に移動させていただく場合があります。
6. 発表後は座長の進行に従って質疑応答をしてください。
7. 質疑応答が終わりましたら画面共有・カメラ・マイクを切ってください。

生理研 痛みの研究会プログラム

2021年1月22日(金)

セッション1 招待講演1-3 座長 古賀 啓祐 兵庫医科大学

9:30 - 10:45

- IL1 有髄神経における Whole-cell patch-clamp 法の確立と K2P チャネルの役割
神田 浩里 兵庫医療大学 薬学部
- IL2 脱分化を伴うシュワン細胞障害に起因したタキサン系抗がん剤誘発末梢神経障害の発症機構に関する研究
今井 哲司 京都大学 医学部附属病院薬剤部
- IL3 Spreading depression (CSD) とは酸化型ミトコンドリアの細胞間伝播であり、血管内酸素分圧に依存する
前田 仁士 植草学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科

セッション2 特別講演1 座長 小野 堅太郎 九州歯科大学

11:05 - 11:55

- SL1 下行性疼痛制御メカニズムと新規アストロサイトサブセット
津田 誠 九州大学大学院薬学研究院 薬理学分野

セッション3 特別講演2 (ランチョン) 座長 大澤 匡弘 名古屋市立大学

12:00 - 12:40

- SL2 条件付け恐怖の消去学習とWEBによる痛み関連学習に関する話題
小山 なつ 滋賀医科大学 生理学講座

セッション4 招待講演4-6 座長 高山 靖規 昭和大学

13:10 - 14:25

- IL4 運動が鎮痛に働く脳メカニズム：恐怖回避思考からの脱却
上 勝也 宝塚医療大学 和歌山保健医療学部リハビリテーション学科
- IL5 軽度頭部外傷後の慢性頭痛の神経機構
田代 晃正 防衛医科大学校 生理学講座
- IL6 頭頸部領域の異所性疼痛メカニズム
篠田 雅路 日本大学 歯学部生理学講座

セッション5 招待講演7-8

座長 古江 秀昌

兵庫医科大学

14:45 - 15:35

IL7 炎症が痛みの上・下行性経路に関わる扁桃体中心核ニューロンに及ぼす影響

杉村 弥恵 東京慈恵会医科大学 神経科学研究部

IL8 島皮質による三叉神経脊髄路核尾側亜核ニューロンの活動制御機構

小林 真之 日本大学 歯学部薬理学講座

セッション6 招待講演9, 特別講演3

座長 川股 知之

和歌山県立医科大学

15:55 - 17:00

IL9 Thermal Gradient Ring を用いた侵害性刺激の行動解析

富永 真琴 生理学研究所 細胞生理研究部門

SL3 臨床医の基礎研究 -古典的 Ca^{2+} イメージング法と古典的パッチクランプ法による痛み研究-

馬場 洋 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 麻酔科学分野